

丸文
2024年3月期 決算説明会
質疑応答（サマリー）

日時 : 2024年5月16日(木) 10:30 - 11:10
場所 : 丸文本社よりライブ配信
説明者 : 代表取締役社長 飯野 亨

Q : 為替相場が1円変動した場合の経常利益への影響額を教えてください。2025年3月期中に1US\$ = 150円で推移した場合、経常利益への影響はどのようになるでしょうか。

A : 今般公表いたしました今期の連結業績予想は、経常利益50億円ですが、概算としてその6割程度、つまり30億円程度がドル建てによるものと想定しています。当社業績予想の為替前提は今期を通じ1ドル=142円ですので、仮にその計画レートを通期に渡ってプラス/マイナス1円変動させる場合、プラス/マイナス2千万円強(=30億円÷142円)の差が生じます。つまり、通期で1円の円安は年間約2千万円程度の増益要因となり、逆に通期で1円の円高は年間2千万円程度の減益要因となります。但し、通期にわたって為替が一定と仮定することは計画上の前提であり、実際には為替変動の度合いやタイミングによる影響も受けることとなります。また期末時点の外貨建て在庫と外貨借入の評価のタイミングのミスマッチによっても大きな影響を受けることがあります。そのため計画レートより8円安の1US\$ = 150円が期中一貫して続くと仮定した場合、プラス1億6千万円が営業利益、経常利益に上乗せされることとなります。

Q : 2025年3月期に見込まれる商権の流出入はどのようなご予定でしょうか。流入の内容、金額もお願いいたします。

A : 日常的に発生する商権の移動はありますが、現時点で大きな商権の流出入は予定していません。

Q : システム事業の海外戦略の取り組みについて具体的に教えてほしい。

A : 当社はASEAN地域で事業展開している自動車や電子部品関連の日系メーカーに向けて、協業パートナーと連携しながら、レーザー技術を用いた接着・接合機器の販売に取り組んでおります。ASEAN地域では現在、高周波の焼入れや抵抗溶接が主流ですが、これらの地域は電力供給に不安定な面があるため、省電力で稼働できるレーザー加工に大きなビジネスチャンスを見込み、販促活動を展開しています。